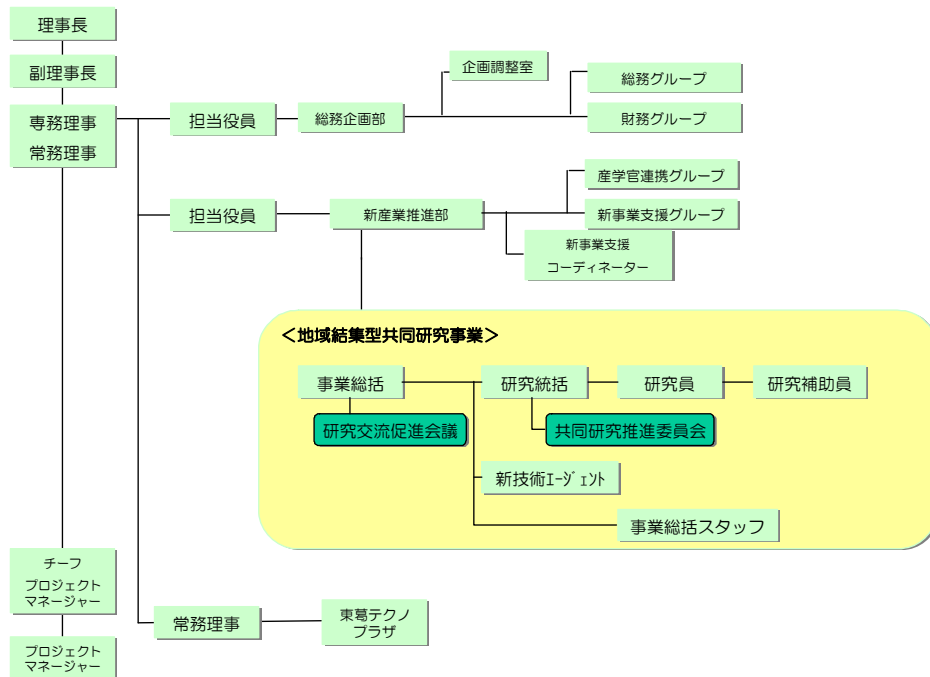


## 6. 中核機関活動の報告

### (1) 事業体制の整備・運営

(財)千葉県産業振興センターは、事業の推進のため、JST、千葉県と協力し、中核機関として運営体制を構築している。具体的には、研究の実施にあたり、かずさDNA研究所内に中核となるコア研究室を設置し、地域の企業・公的研究機関から出向した研究員を組織し、緊密に連携した共同研究を行っている。さらに、事業総括、研究統括等を配置するとともに、研究交流促進会議、共同研究推進委員会の設置により事業を円滑に運営した。



### (2) 技術移転の支援

新技術エージェントを中心として、千葉県の産業振興施策に従って既に構築されている、(財)千葉県産業振興センターの成果移転、企業化支援システムを利用しつつ技術移転の支援を実施した。本共同研究事業のバイオ分野に特徴的な部分として補完するため、専門家をスキルバンクとして登録して活用し(表Ⅲ. 4. (1):前掲)、また、相談可能な専門家集団として準スキルバンク(相談実績のある公的機関等)を活用した(表Ⅲ. 4. (2):前掲)。その他に、図Ⅲ. 4. (1):前掲)および図Ⅲ. 4. (2):前掲)に示したように(財)千葉県産業振興センターの既存の中小企業支援システムが成果移転、企業化支援に寄与した(表Ⅲ. 4. (4))。

表Ⅲ. 4. (4): (財)千葉県産業振興センターの利用可能な産学官連携、中小企業支援システム

スキル(分野)	資格等	事業部	所属部門
産学官連携 (バイオ・医薬)	科学技術コーディネーター	新産業推進部	千葉県・都市エリア産学官連携促進事業
産学官連携 (バイオ・機械)		東葛テクノプラザ <sup>o</sup>	共同研究グループ <sup>o</sup> (ナバイオ研究, DNA工学研究会)
中小企業支援		企業振興部	設備支援室、取引振興グループ <sup>o</sup>
国際化支援		企業振興部	国際化支援グループ <sup>o</sup>
産業人材支援		経営支援部	産業人材支援室

### (3) 今後の展開

地域結集の成果を元にして、現在2つのプロジェクトが実施されている。そのひとつである地域新生コンソーシアム研究開発事業（経済産業省）「超微量バイオ分子間相互作用測定システムの開発」（プロジェクトリーダー：かずさDNA研究所ヒトゲノム応用研究部長 小原収博士）は、(財)千葉県産業振興センターがプロジェクト管理法人となっている。地域結集型共同研究事業で醸成した地域COEシステムをベースに、千葉県の科学技術施策の実施者の主要メンバーとして積極的に取り組んでいく予定である。

### (4) その他

特になし